

指定管理者のモニタリングシート

1、基本情報				確認年月日: 令和7年12月24日	
施設名	盛岡市見前南地区公民館				
住所	盛岡市西見前13地割50番地				
指定管理者名	第一商事株式会社	所管課名	生涯学習課		
指定管理料(年額)					
今回確認期間	令和6年12月1日	から	令和7年11月30日	まで	(12ヶ月間)

2、業務の履行状況の確認について

(1)稼働実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		347	347
延べ利用者数	個人	500人	670人
	団体	15,000人	16,450人
主要事業開催回数	家庭教育支援・青少年教育事業	14回	16回
	成人教育事業	8回	11回
	高齢者教育事業	15回	15回
	芸術・文化事業	9回	9回
	地域連携事業	3回	4回
	自主事業	2回	5回

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
の管理能力確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報情報	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議すべき事項について、適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適・要改善

3、サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への対応のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
要望情	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4、指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

●館内外の施設点検や貸館後の点検・清掃・消毒等を確実に実施することで、利用者に安全・安心してご利用いただけるように努めた。常に館内を清潔に保ち、利用者に気持ちよく、利用してもらうことで、公民館のイメージアップに努めた。アンケート結果からも清潔度の項目で「良い」が99%と高評価を得た。 ●来館者に積極的に挨拶や声掛けを行い、親しみをもって館をご利用いただけるように努めた。来館者との会話も多くなり、利用者との信頼関係が深まった。特に地域の高齢者の方は館に来て、職員と会話をしたり、講座を受講することが楽しみとなっている。 ●四季が感じられる掲示や生け花、鉢植え、サークル活動で制作した作品を展示したり、オープンスペースに地域の方々が制作した絵画や写真を掲示したりすることで、公民館が明るく、楽しい雰囲気になり、喜んで使っていただけるように工夫した。 ●講座案内や公民館だよりを地域に回覧したり、館内に公民館の講座やサークル活動の様子の写真、ポスターなどを掲示したりすることで、地域の方々に対するの情報発信に努めた。小学生向けの講座のチラシを、見前小学校、永井小学校にも配付することで、講座の参加者が多くなった。 ●様々な世代の方々や地域の方々のニーズに即した講座を新設したり、内容を工夫したりした。講座の様子がテレビや新聞等で紹介され大きな話題になった。その結果、高齢者はもちろん、40代～60代の若い世代の方々、男性の方々の講座参加者が増加した。
--

5、モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
●地域や参加者のニーズに即した講座、老若男女誰でも積極的に参加できるような講座を豊かな発想で工夫しながら実施する。 ●自治会や老人クラブ、サークル等に対して積極的な支援に努め、利用満足度や施設利用者数の維持・向上を図るとともに、コミュニティの拠点としての活動を充実させる。 ●館内外の点検や修繕を行い、清潔で、快適な公民館の環境づくりに努める。非常災害への対応に備えるため、近隣自治会や地区内の小・中学校と連携し、避難訓練等実効性のある運営に努める。	各種事業の実施に当たっては、講座の内容や周知方法を工夫することで、これまで公民館を利用したことがない市民も多く参加していることを確認できた。また、施設内は常に清潔に保たれ、利用者が心地よく利用できるよう心配りがされているだけではなく、利用者への声かけ等積極的にコミュニケーションをとっていることから、安心して利用できる空間となっていることを確認した。 今後も、民間事業者としてのノウハウを生かし、様々な人が興味を持ち、参加できる講座の開催と、地域コミュニティの拠点として、居心地がよい空間づくりをし、安心安全に利用できる公民館の管理運営をお願いしたい。